

事務事業名		老人クラブ活動支援事業		所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課		
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	高齢者福祉G	課長名	熱田 小百合		
	施策名	〈21〉高齢者福祉の充実		担当者名	嘉本 峻汰	電話番号	0854-40-1042 (内線) 2151		
	目的・対象	65歳以上の市民	意図 生きがいを持って、住み慣れた地域で安心して暮らす。	予算科目	会計	款	大事業	大事業名	在宅福祉事業
	基本事業	〈062〉社会参加活動の推進			項	目	中事業	中事業名	老人クラブ活動等促進事業
目的・対象	65歳以上の市民	意図 地域とのつながりを持つ。							

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
60歳以上の者	自主的社會活動を助長し、健全で豊かな老後の生活の充実を図る。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	60歳以上の者の自主的社會活動を助長し、健全で豊かな老後の生活の充実を図ることを目的とし、老人クラブ連合会が行う、活動促進事業・健康づくり介護予防事業・地域支え合い事業・若手高齢者組織化活動支援事業に対し補助金を交付する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) 補助金交付申請書受理、審査、交付決定、支払・実績報告書受理、審査、確定	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 特になし。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 会員数	人	3,314	2,884	2,591	2,500
イ 65歳～74歳の会員数	人	903	775	631	600
ウ 老人クラブ連合会への加入率(会員数/対象者(60歳以上)数)	%	19.3	17.0	15.5	15.0
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
	財源内訳						
補助金 10,130千円	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円		1,619	2,437	2,440	2,440
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円		9,381	8,013	7,690	7,380
	事業費計	千円		11,000	10,450	10,130	9,820

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	自主的社會活動を助長し、健全で豊かな老後の生活の充実を図ることができる。
② 事業実施するうえでの課題	65歳以上の就労人口の増加により老人クラブへの加入者数が年々減少している。老人クラブ連合会の活動は、健全で豊かな老後の生活の充実を図ることに貢献しており、老人クラブ加入比率を上げていく必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	補助金をより効果が得られる事業(経費)に活用できるよう検討する必要がある。